平成31年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年７月31日

上 場 会 社 名　株式会社島精機製作所　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6222　URL http://www.shimaseiki.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　島　三博
問合せ先責任者　(役職名)　取締役執行役員経理財務部長 (氏名)　南木　隆　(TEL) 073-471-0511
四半期報告書提出予定日　平成30年８月10日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　: 無
四半期決算説明会開催の有無　: 無

(百万円未満切捨て)

１．平成31年３月期第１四半期の連結業績（平成30年４月１日～平成30年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年３月期第１四半期	16,923	△1.9	3,307	△11.7	3,670	△12.2	2,571	△15.6
30年３月期第１四半期	17,251	2.2	3,747	△1.1	4,181	322.0	3,048	249.1

(注) 包括利益 31年３月期第１四半期　3,069百万円(　0.5%)　30年３月期第１四半期　3,053百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
31年３月期第１四半期	70.44	―
30年３月期第１四半期	88.40	88.26

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年３月期第１四半期	154,835	125,282	80.9
30年３月期	154,337	123,491	80.0

(参考) 自己資本 31年３月期第１四半期 125,269百万円　30年３月期 123,478百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
30年３月期	―	25.00	―	35.00	60.00
31年３月期	―				
31年３月期(予想)		35.00	―	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　: 無

３．平成31年３月期の連結業績予想（平成30年４月１日～平成31年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	34,000	△4.4	6,300	△21.8	6,600	△25.7	4,800	△26.5	131.46
通期	76,000	5.8	16,000	7.3	16,000	3.1	11,500	2.0	314.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　: 無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年３月期１Ｑ	36,600,000株	30年３月期	36,600,000株
②　期末自己株式数	31年３月期１Ｑ	88,113株	30年３月期	87,983株
③　期中平均株式数（四半期累計）	31年３月期１Ｑ	36,511,948株	30年３月期１Ｑ	34,487,254株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（追加情報） …… 7
（セグメント情報等） …… 8
３．補足情報 …… 10
受注及び販売の状況 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期における経済の動向は、米国では雇用環境の改善や個人消費の増加による景気の拡大が続いており、欧州においても緩やかな回復基調が継続しています。中国においても個人消費が伸張するなど堅調な推移となりました。わが国においても輸出の拡大、生産の増加により景気の回復が続きました。

このような経済情勢の中、当社グループは第2次中期経営計画「Ever Onward 2020」をスタートさせ、これまで以上に世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では中国市場を中心に生産の高付加価値化への取組みが進み、ホールガーメント横編機の導入が拡大しましたが、先進国向けニット製品の大量生産拠点であるバングラデシュやＡＳＥＡＮ諸国における「ＳＳＲ」や「ＳＶＲ」などの主力機種の売上が伸び悩みました。

欧州では主力産地のイタリアにおいてホールガーメント横編機を中心に販売が伸長しました。また中東のトルコでは設備投資が急速に回復し、順調な売上高の増加となりました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を上回る推移となりました。

これらの結果、横編機事業全体では売上高は140億８百万円（前年同期比3.8％減）となりました。

デザインシステム関連事業においては、「ＳＤＳ－ＯＮＥ ＡＰＥＸ３」や自動裁断機「Ｐ－ＣＡＭ」の販売が前期並みの推移となり、売上高は８億52百万円（前年同期比1.0％増）となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が伸びず売上高は２億０百万円（前年同期比38.4％減）となりました。

その他事業につきましては、売上高は18億62百万円（前年同期比21.9％増）となりました。

これらの結果、当第１四半期全体の売上高は169億23百万円（前年同期比1.9％減）となりました。利益面におきましては、売上総利益率は前年同期に比べて改善したものの販管費が増加したことで営業利益は33億７百万円（前年同期比11.7％減）、経常利益は36億70百万円（前年同期比12.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億71百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

なお、当第１四半期より当社グループの連結決算においてSHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.については、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したため、同社については平成30年１月１日から平成30年６月30日までの６ヵ月間を連結しております。このことによる影響額は売上高15億79百万円、営業利益１億42百万円、経常利益１億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益１億18百万円がそれぞれ増加しております。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期末における総資産は現金及び預金の増加などで前期末に比べ４億97百万円増加し、1,548億35百万円となりました。負債合計は買掛債務や未払法人税等の減少などで前期末に比べ12億98百万円減少し、295億53百万円となりました。また自己資本の額は、1,252億69百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.9ポイント上昇し80.9％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年５月８日に発表しました平成31年３月期の第２四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成30年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成30年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,575	27,080
受取手形及び売掛金	70,017	65,457
たな卸資産	17,845	18,608
その他	1,444	1,448
貸倒引当金	△1,989	△2,090
流動資産合計	111,893	110,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,326	6,533
土地	11,392	11,578
その他（純額）	5,795	6,036
有形固定資産合計	23,514	24,148
無形固定資産		
のれん	3,246	3,278
その他	349	378
無形固定資産合計	3,596	3,656
投資その他の資産		
投資有価証券	10,646	10,716
退職給付に係る資産	1,056	1,086
その他	5,170	6,422
貸倒引当金	△1,539	△1,699
投資その他の資産合計	15,334	16,525
固定資産合計	42,444	44,330
資産合計	154,337	154,835

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成30年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成30年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,466	3,111
電子記録債務	1,325	1,284
短期借入金	8,499	8,843
未払法人税等	3,321	1,859
賞与引当金	901	1,798
債務保証損失引当金	381	375
その他	7,121	7,474
流動負債合計	26,018	24,746
固定負債		
長期未払金	1,051	996
リース債務	2,405	2,471
退職給付に係る負債	824	819
その他	547	519
固定負債合計	4,827	4,806
負債合計	30,846	29,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	25,867	25,867
利益剰余金	89,978	91,272
自己株式	△258	△259
株主資本合計	130,447	131,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	941	912
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△1,335	△793
退職給付に係る調整累計額	427	412
その他の包括利益累計額合計	△6,969	△6,471
非支配株主持分	13	13
純資産合計	123,491	125,282
負債純資産合計	154,337	154,835

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成30年４月１日 至 平成30年６月30日）
売上高	17,251	16,923
売上原価	8,953	8,650
売上総利益	8,297	8,272
販売費及び一般管理費	4,550	4,965
営業利益	3,747	3,307
営業外収益		
受取利息	109	56
受取配当金	98	101
デリバティブ利益	43	－
為替差益	112	101
その他	140	216
営業外収益合計	505	476
営業外費用		
支払利息	42	87
固定資産賃貸費用	17	14
その他	11	9
営業外費用合計	70	112
経常利益	4,181	3,670
税金等調整前四半期純利益	4,181	3,670
法人税、住民税及び事業税	1,462	1,146
法人税等調整額	△331	△47
法人税等合計	1,131	1,098
四半期純利益	3,050	2,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,048	2,571

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成30年４月１日 至 平成30年６月30日）
四半期純利益	3,050	2,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	△29
為替換算調整勘定	△256	541
退職給付に係る調整額	△1	△14
その他の包括利益合計	2	497
四半期包括利益	3,053	3,069
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,051	3,069
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が連結決算日と異なるSHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.については、四半期連結決算日との差異が３ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりましたが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、当第１四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第１四半期連結累計期間は平成30年１月１日から平成30年６月30日までの６ヵ月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成30年１月１日から平成30年３月31日までの売上高は15億79百万円、営業利益は１億42百万円、経常利益は１億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は１億18百万円であります。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

海外連結子会社は、税金費用について、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年２月16日）等を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成29年４月１日　至　平成29年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	横編機	デザインシステム関連	手袋靴下編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,555	844	324	15,724	1,526	17,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,555	844	324	15,724	1,526	17,251
セグメント利益	4,828	177	77	5,082	159	5,242

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	5,082
「その他」の区分の利益	159
全社費用（注）	△1,494
四半期連結損益計算書の営業利益	3,747

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成30年４月１日　至　平成30年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	横編機	デザインシステム関連	手袋靴下編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,008	852	200	15,061	1,862	16,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,008	852	200	15,061	1,862	16,923
セグメント利益	4,228	175	52	4,457	430	4,887

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利　　益	金　　額
報告セグメント計	4,457
「その他」の区分の利益	430
全社費用（注）	△1,580
四半期連結損益計算書の営業利益	3,307

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）に記載のとおり、一部の連結子会社は、当第１四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第１四半期連結累計期間は平成30年１月１日から平成30年６月30日までの６ヵ月間を連結しております。

【関連情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成29年４月１日　至　平成29年６月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

（１）売上高

（単位：百万円）

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,554	1,773	72	13,280	569	17,251

（注）１　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
２　「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成30年４月１日　至　平成30年６月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

（１）売上高

（単位：百万円）

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,801	3,754	2,630	8,353	382	16,923

（注）１　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
２　「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

３．補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第１四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	13,895	85.1%	8,887	65.6%
デザインシステム関連	1,110	94.2%	636	99.1%
手袋靴下編機	406	65.2%	455	86.1%
合計	15,412	85.0%	9,979	67.8%

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第１四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	14,008	96.2%
デザインシステム関連	852	101.0%
手袋靴下編機	200	61.6%
その他	1,862	121.9%
合計	16,923	98.1%

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。